

清流

広報誌タイトルは伊藤博院長みずからのネーミングによるもので、患者さま一人ひとりに対して職員全員が犀川の清き流れの如く澄んだ気持ちでおだやかに思いやりを持ちながら対応させて頂ければと考えております。



清流

●伊藤病院だより

第1巻3号

平成13年12月1日発行

●発行所●

伊藤病院

〒920-0976

石川県金沢市十三間町98

TEL(076)263-6351(代)

FAX(076)263-2526

●印刷●

高桑美術印刷(株)



伊藤病院院長 伊藤 博

【医療の質】高さを証明

私どもの病院は、お蔭様でこのほど九月十七日付けで日本医療機能評価機構の認定書を取得いたしました。当病院の医療サービスの質の高さが第三者の評価によつてこのように立証されたことを、職員一同大変喜んでおりますが、私どもの責任も一層重くなったものと自覚しております。石川県内ではこれまで九病院がこの認定証を受けております。

このたびの評価の対象は病院の理念と組織的基盤、地域ニーズの反映、診療の質の確保、看護の適切な情報、患者サービスの配慮、病院の運営管理の合理性などを柱にしています。審査官がこれらの柱に基づいて約五〇〇項目を分担チェックする訪問審査等を受けた結果、すべての項目について基準を達成しており、認定証を戴くことができました。

私どもはこの認定を機会に、より一層患者さま中心の安心・安全の医療を提供させて頂くよう決意を新たにしておりますので何卒よろしくご指導ご支援をお願い致します。





地域の皆さんから信頼される 病院を目指して

事務長 沢瀬 諭

日本医療機能評価機構とは、一般には殆どなじみのない名称ではありますが、今、全国で多くの病院が施設・設備を整備し管理運営を充実し、何とかこの機構の認定を取得しようと努力しています。

この機構は、第三者機関として患者さまが質の高い医療を安心して受けられるように、医療を提供する病院の機能を学術的観点から、中立的な立場で評価し、改善を支援し、評価に合格した医療機関に認定証を発行する機関です。

私どもの病院も、職員一同で総力をあげてこれに挑戦した結果、この度石川県では、十番目の病院として認定書を取得しました。

この第三者評価を受ける事により病院には次のような効果があります。

- 一、患者さまが安心して受診できる病院として信頼性を高める事が出来ます。
- 二、病院の地域における位置付けを把握でき、改善すべき点が具体的・現実的になります。
- 三、職員の自覚と意欲の一層の向上が図られます。

私たちは認定証を受けたことを新たな出発点とし、さらに職員一同一丸となって日々努力を重ねて行かなければならないと肝に命じています。



安心安全の看護を期して

病棟婦長 辰巳 寿美子

私は病院にも海外のホテルのスタッフのような評価制度があることを今回の審査を受けることになって始めて知りました。病院の設備や機能が望ましい水準に保たれているか、また、そのための努力がなされているかといった事を審査するための機関、それが「日本医療機能評価機構」でした。

私たち看護婦は「看護の適切な提供」を担当することになり、まずは自己評価から始めました。すぐに合格ライン（☆3く5）から程遠い項目や、よく意味の分からない項目が出てきて根を上げそうになる日もありました。今回は審査を断念して貰おうと思った事もありました。そうこうしている内に審査日が刻々と近づき、院長の執念とも思える認定への熱意に後押しされるようにして審査日を迎えました。その時はとにかく出来る事はやったと言う安堵感で一杯でした。

もし認定に結びつかなかったとしても、スタッフの患者さまに対する認識を高める事につながり、また院内の設備が一段と改善され、利便性が高まった事は、今回のチャレンジによって得られた成果と思います。結果は認定という形で評価されてほっと致しました。

認定はゴールではありません。むしろ出発点だと思います。今は認定証に恥じないようにと、以前とは違った緊張感と責任感があります。これからも患者さまの声に耳を傾けながら、32床という小規模病院だからこそ出来るメリットを活かして患者さまに安心して受診、また、入院生活を送って頂ける医療を目指したいと思っています。



更なるレベルアップを誓って

看護婦 村中 康子

日本医療機能評価機構の認定のお祝いを、平成13年10月20日に金沢ニューグランドホテルにて行いました。

会場には、職員やお世話になった方々が集まり、一緒に喜びを分かち合い、美味しいお寿司などをいただきながらみんなで楽しく歓談しました。

これからもみんなで協力し合い、更なる病院の発展と職員の一人一人がレベルアップすることを誓いました。



栄養部だより



厨房が生まれ変わりました。

管理栄養士 長浦 暎子

しばらくの間、患者さまにもご迷惑をお掛け致しましたが、皆様のご協力のおかげで今年5月に厨房も全面改装し、栄養部一同初心に返り新鮮な雰囲気の中でおいしい食事作りに励んでおります。

天井・壁は以前よりも増して明るくなり、床は乾式になり調理、盛り付け等作業区域別に色分けされました。また、衛生面においても更に細心の配慮がなされ、厨房内の温度、湿度共に常に適切な状態に保たれるようになりました。また、ガスチームコンベクションオーブン等最新の機器導入により、調理面においても合理化され、より機能的になりました。

今後は更に患者さまに喜んでいただけるようできる限りご希望やご意見を生かし、おいしく、心の込めたお食事作りを心がけていこうと思っております。

●認定シンボルマークの意味

中央の十字は病院や医療全般のシンボルです。それを取り囲む円は、さまざまな病院に対する評価と信頼を表しています。患者へ安心感・信頼感を与え、自分の病院に対する誇りと自信、モラル向上などが期待されます。シンボルカラーは金、究極の英知を表すとされている色です。言うまでもなく金賞の金でもあります。



診察のご案内

診療時間		月	火	水	木	金	土
午前	9:00	伊藤 博	伊藤 順	石澤友海子	伊藤 順	伊藤 博	伊藤 透
	13:00	伊藤 順					
午後	14:00	伊藤 順	伊藤 順	藤岡 央	伊藤 順	伊藤 順	
	17:30	PM4:00~ 伊藤 透					



内視鏡検査日：月、火（胃・大腸）
水、土（胃）

■外来診療時間

平日受付 8:00～13:00 14:00～17:30
土曜日受付 8:00～13:00
休 診 日 日曜・祝日及び12月31日～1月3日

メディカルコラム

—早期胃癌—

●内視鏡的粘膜切除術

当院では前回号でお知らせした大腸早期癌の内視鏡的治療ばかりでなく早期胃癌等の胃病変の内視鏡的治療も行っております。

大学で数百例の早期胃癌の内視鏡治療の経験がある伊藤透医師が行っておりますが、当院で最近行った80歳の女性の方の症例をご紹介します。

定期的に行っておられた上部消化器内視鏡検査で胃体中部前壁（写真1）のIIa型早期胃癌が認められました。

以前であれば外科的に手術されておりましたが、超音波内視鏡で粘膜表層に病変が附着していることがわかりましたので、フード装着による内視鏡的粘膜切除術が行われました。（写真2、3）

切除後合併症もなく、術後8日目に退院されました。現在では再発もなく元気に通院されておられます。当院では患者さまにとってやさしく、かつご負担が少なくなる医療を提供させて頂ける病院として常に努力しております。このような病変の治療を専門としている当院に是非ご相談下さい。



写真1



写真2



写真3



駐車場 収容台数25台

交通のご案内

- 北鉄バス
片町（金劇パシオン前）下車 徒歩3分
片町（ラブリ前）下車 徒歩5分
野町・広小路下車 徒歩5分
- 城下まち金沢周遊バス
十三間町（伊藤病院前）下車
- タクシー
JR金沢駅より10分

編集委員 / 伊藤 順 沢瀬 諭 辰巳 寿美子

伊藤病院

〒920-0976 金沢市十三間町98
TEL (076) 263-6351(代) FAX (076) 263-2526